

トンガ王国における可倒式風車建設工事竣工

トンガ王国での可倒式風力発電所(275kW×5基)の建設が6月末日に竣工し、7月10日に国王ならびに王妃ご臨席の下、オープニング・セレモニーが開催されました。

石井トンガ大使より、日本のODA案件として初の風力発電案件であると共にトンガ王国の目標である2020年までに再生可能エネルギー50%達成に向け貢献することを期待する旨のご挨拶がありました。

また、トンガ電力公社(TPL)のChen社長からは、本件により再生可能エネルギー50%達成は視野に入つたとのご発言がありました。



完成した風車の全景



オープニングセレモニー
(右から Sika 副首相、王妃、国王、石井大使、大使夫人)



鏡開き
(右から 石井大使、Sika 副首相、南洋貿易栗林社長、当社湊社長)



トンガ国王による風力発電設備起動セレモニー

■ 本案件を振り返って 《儀保取締役技術営業部長》

本案件の獲得までには、沖縄電力(株)、沖縄県、JICA、NIAC(南西地域産業活性化センター)等、多くの方の支援をいただきました。

また当社にとって初の海外案件でしたが、建設工事について多くの方のご協力をいただき工期内に無事故無災害で完工することができました。

現地で交流したトンガ人は皆、陽気で明るく、日本に対しての信頼が厚く、現地に赴任した当社メンバーは快く歓迎してもらい非常に感謝しています。本件により、トンガ王国のエネルギー環境の向上、ひいてはトンガ王国との友好関係の向上の強化につながることを期待しています。

当社は今後も本案件で培った知見を活かし、業務の拡大を目指します。



社員紹介

技術営業部 ガス営業課
川上 壮一
(かわかみ そういち)

生年月日 1984年12月10日
入社日 2016年2月1日



Q1. 担当業務について教えてください。

イオンモール沖縄ライカムから見えるアワセ天然ガス供給センターのガス主任技術者として維持・管理を行っていると共に天然ガスに興味をお持ちのお客さまへの視察案内をし、沖縄県で天然ガスの認知度が拡大するよう努めています。

併せて、天然ガス導入に向けて、ホテル、商業施設などに営業提案を担当しております。営業提案から導入に至るまでの道のりにおいて、協力業者さんとの協議、スケジュール調整、お客さまの要望の確認などの業務を行っております。また、既に導入されているお客さまの消費機器の不具合対応や、機器の追加・更新が無いか等のアフターサービスをしております。

Q2. 仕事をすすめる上で気をつけていることは何ですか？

仕事を進める上で、次々と課題は出てくるものです。その場で解決できるものは解決し、自分で解決できないものは

周囲と相談し、業務を前に進めることに、気をつけています。

Q3. 今後の抱負について教えてください。

日々、時間に追われる中で35歳という節目の歳なので、時間や体調管理をしっかり行い、前向きに業務に取り組んでいきたいです。

また、仕事で学んだことを生かし、スキマ時間に資格試験の勉強をしていきたいです。

Q4. 趣味は何ですか？

趣味はありませんが、いつも息子に振り回されています。息子が仮面ライダーの変身ポーズをする際に「かっこいい！」と言い、息子の太鼓持ちをしています。これが、趣味というか、気晴らしというか、息子の成長を見て、自分も成長した気になって勘違いを楽しんでいます。

当社業務紹介 《第1回目》

VOICE \出荷担当者の声/



大城 竜治

ローリー出荷業務



LNG出荷作業 (吉の浦発電所出荷ゲート)

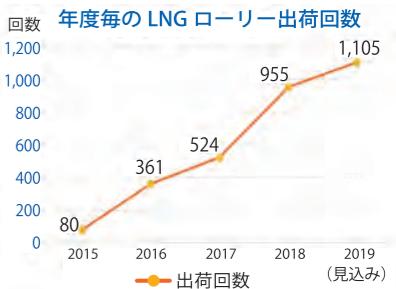


楚南 健



LNG受入作業 (アワセ天然ガス供給センター)

LNG出荷、受入業務に従事し早一年が過ぎました。業務配属当時と比べ、供給先も増え、ローリー出荷台数も伸びており、期待とやりがいを感じ、頑張っています。今後が楽しみです。これからも無事故、安全第一、安定供給に取り組んで参ります。



編 / 集 / 後 / 記 /

◎先月、首都圏を襲った台風15号は我々に自然の力の凄まじさを見せつけました。災害は忘れた頃にやってくる、ではなく、忘れないうちにやってくる程に年々日常化しつつある自然災害対応の重要性を改めて認識させられました。

◎上半期は、トンガ可倒式風車案件の竣工、LNG設備の運用開始など大型工事が自白押しでした。無事故・無災害で業務遂行でき、ご協力頂いた皆様に感謝致します。今後ともよろしくお願いいたします。

01

【トピック】

牧港天然ガス供給センター 安全祈願祭・竣工祝賀会を開催

8月21日(水)、牧港天然ガス供給センターの安全祈願祭並びに竣工祝賀会を開催致しました。

当センターは沖縄県内初の熱量調整機能を有するLNGサテライトとなっており、中城、アワセ、州崎に次ぐ4番目の天然ガス供給センターとして浦添市牧港にある沖縄電力(株)本店構内に建設されました。セブン-イレブン・沖縄様向けの弁当や惣菜等を製造する武蔵野沖縄様の工場へ約800mの導管を通じて天然ガスの供給を開始しております。



▲左から、当社湊社長、(株)武蔵野沖縄 山根社長、(株)沖縄エナテック 仲尾社長、JFEエンジニアリング(株) 倉島常務、沖縄電力(株) 本永社長、(株)IHIプラント 中山取締役、沖電開発(株) 池原常務、(株)りゅうせき 根路銘取締役

02

【トピック】

Royal Hotel 沖縄残波岬様 安全祈願祭・竣工祝賀会を開催

8月27日(火)、Royal Hotel沖縄残波岬にて、安全祈願祭・竣工祝賀会を開催致しました。

Royal Hotel沖縄残波岬様にはLNGサテライト及びコージェネレーションを導入いただき、ホテル内給湯設備や空調機器への熱エネルギー融通が可能なシステムの構築を実現いたしました。

また、これらの設備は弊社が保有することで、お客様の導入コスト低減が図れたほか、設備のメンテナンスを含めた効率的な運用提案を行うことで、省エネルギー、省CO₂、省コストを図っております。



▲左から 当社湊社長、沖縄電力(株) 成底常務取締役、(株)OGCTS 國分常務取締役、大和リゾート(株) 岡本執行役員、Royal Hotel沖縄残波岬 森総支配人、(株)九電工 副田沖縄支店長、ヤンマー沖縄(株) 高江洲社長

03 【トピック】 社内訓練&勉強会の実施

ガスの安定供給に向け勉強会・訓練を継続的に実施しています。最近の主なものを紹介します。

[7月] ガス工作物の技術基準適合に関する勉強会



[8月] 金属腐食・ケレン・塗装の基礎知識と作業実施訓練



[9月] 既存溶接配管の延長・補修工事の際のガス遮断訓練



現地レポート
No.3

トンガ王国可倒式風車建設工事竣工までの道のり

2012年に可倒式風車の海外展開の可能性を探るべく NIACの補助事業に応募してから8年。多くの方々の支援を受け、この度、無事に竣工することができました。今回は、2009年からこれまでの出来事や作業風景を紹介します。

年 月	案件成約までの主な事項
2009年12月	沖縄電力が波照間島に国内で初となる可倒式風車を運転(245kW、2基) 以降、沖縄電力は現在までに4島に7基を設置。当社がすべての風車の建設及び保守修繕を担当
2010年	トンガ王国政府は2020年までに電力供給の50%を再生可能エネルギーで賄うことを目指すTonga Energy Road Mapを策定
2012年5月	名護市で第6回大洋州・島サミット開催。野田総理(当時)は、島嶼国へ3年間で最大5億米ドルの資金援助を行う旨表明
2012年10月～13年3月	NIAC(南西産業活性化センター)補助事業「島嶼型環境システム海外展開事業」に応募し採択 トンガを訪問。可倒式風車の優位性をアピール(2013年1月) ※1
2014年8月～15年12月	JIICA補助事業「大洋州における防災型沖縄式可倒式風車普及促進事業」に応募し採択 トンガを訪問し、現地状況を確認すると共に、現地要人の沖縄招聘を打診(2014年8月) トンガ要人が来沖。沖縄県庁、沖電を訪問すると共に南大東島の風車を視察(同年9月) トンガを訪問し、現地での情報を収集すると共に、第2回の沖縄招聘を打診(2015年3月) TPLのエンジニアが来沖。波照間島でメンテナンスの研修を実施(同年5月) ※2
2017年5月	トンガ・日本両政府間で「風力発電システム整備計画」に対する21億円の無償資金贈与契約を締結
2017年11月	JIICAより「トンガ王国向け風力発電整備計画案件」公示
2018年1月	トンガ政府・TPLとJV(西澤・PEC)間で可倒式風車5基設置に関する契約調印 トンガ要人が来沖。沖電表敬訪問、粟国島視察 ※3

〔竣工までの作業〕



▲タワー出荷前検査(2018年11月：丸亀にて)



▲タワー組立の様子(2019年3月)



▲ブレード組立、カバー取付の様子(2019年5月)

〔建設中の始業時の活動〕



▲日本のラジオ体操導入



▲作業前の全員による安全呼称

◎ プロジェクトに携わって

《津波古電機課課長》

2012年に可倒式風車の海外展開の可能性を探るべく NIACの補助事業に応募して以来、絆余曲折の末に8年目での竣工となり感無量です。また、県内の建設とは異なるところも多々あり、昨年2月のサイクロンジータの影響による工程調整や5基同時施工という困難のなか職員の努力と、TPLの支援もあり無事竣工できました。

